

面 談 記 録

担当課 企画課秘書室

件 名	横須賀・三浦二次保健医療圏域における基準病床数に関する要望について
日 時	平成30年2月19日（月）13:25～13:45
場 所	神奈川県庁保健福祉局長室
相手方出席者	武井政二神奈川県保健福祉局長、足立原医療課長
市側出席者	平井竜一市長、企画課 近藤主事
記 録 者	企画課 近藤和裕 平成30年2月20日作成
内 容	<p>市長）逗子市としては、県の地域医療構想等から、医療需要は増え病床が不足するのは明らかであり、基準病床数の増床は必要である。明日、知事に要望書をお渡しするので、ご理解、ご協力をよろしくお願いしたい。</p> <p>相手方）これまでの経緯は知事に説明している。市の意向は承知している。保健医療計画では、基準病床数の毎年見直しの検討の方向性もある。県としても今度もサポートしていければと考えている。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>

面 談 記 録

担当課 企画課秘書室

件 名	横須賀・三浦二次保健医療圏域における基準病床数に関する要望について
日 時	平成30年2月19日（月）13:50～14:15
場 所	神奈川県庁副知事室
相手方出席者	首藤健治神奈川県副知事、中澤よう子保健福祉局技監（地域包括ケア担当）、足立原医療課長
市側出席者	平井竜一市長、企画課 近藤主事
記 録 者	企画課 近藤 和裕 平成30年2月20日作成
内 容	<p>市長）県にはご協力を頂いているが、地域医療構想等から病床が不足するのは明らかであり、病床数の確保について、明日、要望書を知事に提出する。保健医療計画において病床の増床と医療人材の確保は並行して進める課題であり、逗子の病院誘致はそれに貢献できる。今後とも誘致の実現という目標に到達できるようにご協力をお願いしたい。</p> <p>相手方）横浜、川崎、横須賀・三浦医療圏は毎年、病床数を見直すことを考えている。基準病床はベット数しか規制していない、計画では人材についても合わせて考えていかなければならない。</p> <p>市長）三次救急、二次救急を圏域全体で考えていきたい。また基準病床数の見直しは直近のデータで算出し、医療需要に的確に対応すべきである。</p> <p>相手方）善処したい。三浦半島で医療機関が連携するように、組み立てが出来ればと考えている。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>

面 談 記 録

担当課 国保健康課

件名	横須賀・三浦二次保健医療圏域における基準病床数に関する要望について
日時	平成30年2月20日（火）午前9時45分～10時
場所	神奈川県庁知事室
相手方出席者	黒岩神奈川県知事、近藤県議（立会い）、 小板橋知事政策秘書官、中澤よう子保健福祉局技監（地域包括ケア担当）、足立原医療課長
市側出席者	平井市長、国保健康課 須田主事
記録者	国保健康課 須田 平成30年2月20日作成
面談内容	<p>（平井市長から黒岩知事に要望書を提出）</p> <p>市長：2月1日に行われた三浦半島地区保健医療福祉推進会議では、医療関係者の意見等もあり、第7次保健医療計画の基準病床数は5,307床（50床過剰）とする見解が示された。逗子市、葉山町ともに横須賀・三浦圏域の著しい高齢化の進展にともない、計画的な増床が必要であるという県の考えに賛同しているので、県が示した国告示の病床利用率を使用した数値を採用していただきたく、要望書をお持ちした。</p> <p>知事：県が地元の推進会議の意見を覆して病床数を決めるということは難しいが、今後、この圏域では毎年基準病床数を見直すということもあるので、その中で共通の思いをもってやっていただきたい。</p> <p>県議：病院の建設予定地は逗子インターにも近く、逗子・葉山だけでなく、他地域からもアクセスしやすい場所である。</p> <p>知事：ぜひ、特色のある病院を展開していただきたい。県では、未病をキーワードに、認知症、糖尿病、オーラルフレイルなどに力を入れている。</p> <p>市長：病院の機能については、地域の関係者による検討会で議論が進んでいる。病診連携、在宅医療、口腔ケア等にも対応できる病院を目指している。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>